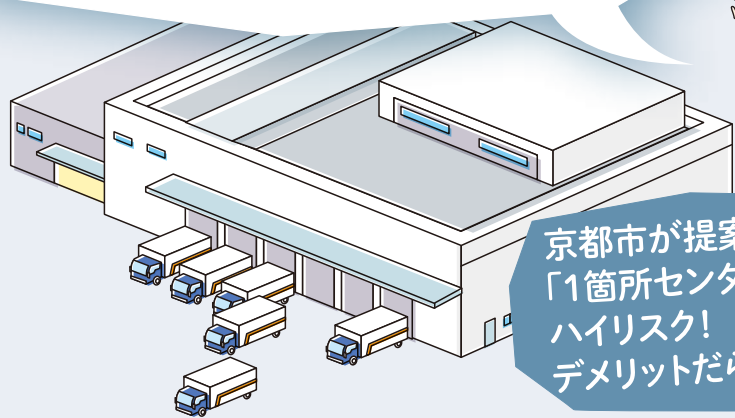


市民の声におされ、ようやく京都市でも全員制中学校給食実施へ

ところが！京都市が発表したのは…

え!? 日本最大の…

給食「工場」建設?



京都市が提案する「1箇所センター方式」ハイリスク! デメリットだらけ…

たった1か所の給食センターで63校26000食分なんてありえない!!

▶ 食中毒発生時は被害が全中学校に

市内1か所の給食センターでは、食中毒発生時に被害が全校に及びます。埼玉県八潮市では、民間給食センターの給食を食べた小中学生ら3400人が下痢や腹痛などを発症した集団食中毒が発生。全校で4か月にわたって給食の提供が中止されました。

▶ 栄養教諭の配置は市全体でたった3人

26000食の給食センターでは、栄養教諭の配置基準はたった3人。これでは63校の中学校の食育はできません。

▶ 建設予定地は浸水想定区域

建設予定地の塔南高校跡地は洪水想定区域で想定浸水深は3.5m。福知山市では豪雨災害で配送車が水没。1か月間給食提供が中止に…。

▶ 大規模工場建設で住環境も悪化!?

何十台もの配送車が何度も出入りするごとに。排気ガスや通学路の安全も心配です。

2時間以内に配送できる?



食中毒の発生リスクが高くなるため、学校給食は「調理後2時間以内に喫食することが望ましい」とされています（学校給食衛生管理基準）。京都市は「12時までに配送し2時間以内の喫食が可能」としていますが、法律上生徒が食べる30分前には校長による「検食」も必要です。とくに観光シーズンは平日でも混雑する京都市の交通事情。本当に可能でしょうか？



こんなにたくさん! 学校調理の

手作りの温かさ・食の安全「学校調理」の中学校給食が一番!

小学校のような

メリット

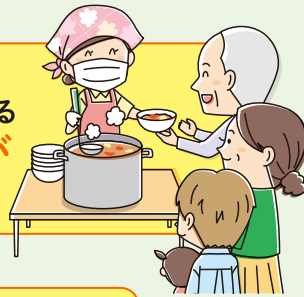


独自献立 地産地消 有機食材

できる学校から すぐスタート!



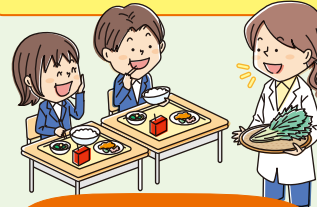
温かい 炊き出しができる 防災拠点が増える!



学校毎の工事で 地元事業者の仕事が回る! 調理師等の雇用拡大



食育が充実できる



小学校では栄養教諭が全校に配置。中学校にも栄養教諭がいてこそ、生徒一人ひとりに寄り添い、食育の取組も充実できます。

栄養教諭の声

毎日学校現場で手を尽くし、調味料を入れるタイミングにも気を使い、子どもたちも「美味しかったよ!」とグーサインをくれます。栄養教諭が肥満や摂食障害など子どもの食の問題にも向き合えるのは毎日子どもと「顔を合わせるからこそ」。それが命・健康・発達の保障につながります。工場で作ったものを一斉に食べるだけでは食育はできません。今だからこそ、あたたかく子どもの心を育む、心身の発達を保障する給食であってほしいと思います。

市政を変えて実現しましょう

とことん 調査・懇談

いつでも 市民と共同

市民の声をもとに 論戦・提案

日本共産党 京都市会議員団